

第4期地域福祉活動計画 R4.11/28 住民懇談会（組織構成会員全体会議）の意見抜粋

テーマ1【広報・啓発】～つながりを増やそう～「地域」に関わってくれる人を増やす発想

【Aグループ】

岡本公一（区長会）、内布満喜子（福祉委員会）、亀多明子（日赤奉仕団）、  
西野一信（遺族会）、今西英人（民生委員児童委員協議会）、川越智子（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ 高齢者と子ども ）を対象に、

（ 公園の掃除+季節の行事

《例》ピクニック(食事)・地区対抗運動会・おもちつき・祭りなどの復活 )

をやったらオモロイかも！です。

なぜ、そんなことを考えたかという、（ 食事・モノをもらえるイベントには人が集まる！ ）と思ったからで、実現すれば（ 普段、地域の活動に参加しない方が地域イベントに参加できる。／情報交換ができて、相談窓口を周知できる。 ）という、いいことがあります。

実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

高齢者も子どもも  
自然と交われる、集い交流できる場所  
→情報交換、気軽に相談窓口を知る場

地域イベントを企画して、参加した人にプレゼント（食事、クーポン等）を用意する。プラスの楽しみをつける。

食事（ピクニック）  
公園そうじの後のお楽しみとして、みんなで食事をする。

高齢者は人との関わりを求めている人が多い。（特に子どもとの）つながりが少ない。

いじめや不登校など、見守りが難しい家庭でも、普段から、子どもと高齢者が関わることで、支援につながるかも。

「全員野球」でできるような催しが欲しい。  
スポーツチームでの運動会など。  
地域の誰でもが参加できるイベント。

テーマ1【広報・啓発】～つながりを増やそう～「地域」に関わってくれる人を増やす発想

【Bグループ】

上田裕彦（区長会）、林成典（福祉委員会）、細川雅子（更生保護女性会）  
金銅雅美（おはなしころりん）、大谷純平（どうみょうじ高殿苑）、奥村敬子（献血推進委員）  
家田葵（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ 現在活動している団体と子育て世代 ）を対象に、  
（ 両者が一緒に参加できる、趣味活動の〇〇教室 ※繰り返し会うことに意味がある  
《例》（男の）料理教室・スポーツ教室・健康教室・昔遊び教室・勉強（教える） ）  
をやったらオモロイかも！です。

なぜ、そんなことを考えたかという、（ 楽しくないと来てくれない！次の世代に  
つなげていくため ）と思ったからで、実現すれば（ つながりが増えて、なり手が見つ  
かるきっかけとなる。→地域活性化する ）という、いいことがあります。

実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

繰り返し会う、企画をつ  
くる。  
機会を増やす。  
メニューが多い方が良  
い。

子どもに「福祉」を教える  
のは難しい。親や大人の  
姿を見せる。  
助け合い、声掛け合うこ  
とを教える。

・夕食を一緒にとる。  
・「男の料理教室」  
・声かけしかない。  
・世代を問わず体を動か  
せるもの。イベント。

多世代が交流できる、  
集まるきっかけとして、  
共通の趣味（イベント・  
サークル）の種類を多く  
つくる。

親子世代だけを対象で  
はなく、今の活動団体も  
一緒に動くもの。  
（今の活動を次世代に  
つなげる）

「参加」していた人が、  
「一緒にやろう」という  
"なり手"に変化させるこ  
とが必要。積算時間を  
増やす。

テーマ1【広報・啓発】～つながりを増やそう～「地域」に関わってくれる人を増やす発想

【Cグループ】

多田和彦（校長会）、神戸寿美代（障害者支援センターわっと）、堀内和江（献血推進委員）  
森勝則（福祉委員会）、唐原健太郎（青年会議所）、坂本貴啓（市福祉総務課）  
竹本瑞希（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ 住民全体 ）を対象に、  
（ ターゲットと内容を柔軟に変えられるミニツアーやミニイベントを定例化《例》今ある団体で企画チームを作るなど、市役所、施設、相談機関、子ども食堂等のツアー ）  
をやったらオモロイかも！です。

なぜ、そんなことを考えたかという、（ 子どもの居場所が少なく、子育て世代に情報が届いていない ）と思ったからで、実現すれば（ 子どもをメインに親世代、おじいちゃんおばあちゃん世代を巻き込んでいける ）という、いいことがあります。

実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

遊び場、夕食サロン等

「こんにちは」「さようなら」  
以上の関りがもてる場  
所。きっかけづくり。

習い事をしていた人が教  
える（活躍してもらう）

大人から子どもまで楽し  
めるようなこと

高齢者（もっと話したい  
と感じている）

子育て世代（伝えたい）

→結果、住民全体

定例化、シリーズ化すれ  
ば、次回のチャンスを設  
けることができる。

情報量が多い広報は、  
「広報に～が載ってるよ」  
と声掛けが有効。

広報＋クチコミ＋チラシ。  
情報が1つのチラシは、  
子どもでも伝えやすい。

学校とコラボする。  
学校は、既に多くの団  
体との接点がある。

テーマ1 【広報・啓発】 ～つながりを増やそう～ 「地域」に関わってくれる人を増やす発想

【D グループ】

已波正春（福祉委員会）、尾松啓祐（商工会）、大川正彦（シルバーアドバイザー藤井寺）、森田秀子（保健推進員会）、田中申明（大阪緑涼高校）、白井哲史（社協職員）

**【グループからの提言】**

皆さんに提案したいことは、（ 世代を越えた方 ）を対象に、  
（ 交流ができる場所をつくる。学校の教育の場+地区の会館を利用  
《例》学校に高齢者(ex 福祉委員)が行って、「福祉」を教える。交流を図る。 ）  
をやったらオモロイかも！です。

なぜ、そんなことを考えたかという、（ 関係性が薄くなっている ）と思ったから  
で、実現すれば（ 地域が元気になる。高齢者と子どもが顔見知りになる→見守りになる。  
いろいろな活動を知ってもらえる。（担い手につながる） ）という、いいことがあります。  
そうです。

実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

地区単位の活動が多いが、地区を越えた協働、他団体との交流が大事

地域のことを知ってもらう機会を増やす。  
地域に愛着をもってもらおう。

子どもが考える「福祉活動」を大人が応援する。

幅広い年代層の人が集える催し  
利便性の良いところ、地区の会館で。

魅力的なボランティア活動、地域の活動を考える。  
今はメリットがないと思われる。  
→なり手不足

農業委員とコラボする。  
野菜と花を作る。

ボランティアの意味  
健康寿命が伸びる

テーマ2【地域づくりの実践】～居場所づくりで夢を語ろう～★「居場所」を活用する発想

【E グループ】

濱岡文代（福祉委員会）、太田真知子（福祉委員会）、清水証人（ライオンズクラブ）、川端健高（賀光寮）、谷口美智代（あゆみ家族会）、広瀬孝子（手話サークルふじいでら）、小寺充代（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ 全員 ）を対象に、

（ クラブ活動・趣味活動ができる場所づくり 《例》登山、料理、パフェクラブ ）  
をやったらオモロイかも！です。

なぜ、そんなことを考えたかという、（ 障がい者、健常者いろんな人が集まれる ）と思ったからで、実現すれば（ 個人の幅が広がる（活動・交流・経験） ）という、いいことがあります。

実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

ガイドヘルパーがなくても、夜でも、障がい者の方が行くことができる場所。障がい者が自分で行ける居酒屋。

クラブ活動の部活部屋をつくる。  
「部室」を拠点に登山、料理、パフェ食べ歩き等、細かくても◎

畑クラブ  
野菜を作って、調理する  
  
同じ趣味の人が集まれるところ。

高齢者、障がい者、子育て世代、様々な対象者が出てきたが、、結局は、誰もが対象。

「クラブ」という言葉が、学生にも伝わりやすい。来てもらえるかも。  
  
「趣味」活動が良い。

テーマ2【地域づくりの実践】～居場所づくりで夢を語ろう～★「居場所」を活用する発想

【F グループ】

楠谷雅司（保護司会）、中辻宏樹（子ども子育て連絡会）、林恵子（心身障害児者父母の会）、大崎信久（入信寺）、爲貞修子（母子寡婦福祉会）、三好有希（市子育て支援課）、松本晃代：（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ 市民全員 ）を対象に、  
（ 制限を設けず、思い付きが形にできる場所 ）ができればオモロイかも！です。  
なぜ、そんなことを考えたかという、（ 誰もが自己実現できる場所が欲しい ）と思ったからで、実現すれば（ 自分の地域でも欲しいと思う人が出てくれば、藤井寺市全体が活性化していく ）という、いいことがあります。  
実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

いつでも誰かに会える場所、自由に使える場所、しんどいときに寝ころがれる場所 等

- ・ゆるスポーツ
- ・防災講話
- ・キッズフェスティバル
- ・ダベリング会
- ・自習室
- ・凧あげ大会 等

対象者を区別するのは良くない。  
みんな誰でも受け入れる。誰でも対象。

「やりたいこと」が否定されることなく、叶えられる場所。「できない」と言われない。  
自己実現できる。

「できること」をシェアする掲示板

テーマ2【地域づくりの実践】～居場所づくりで夢を語ろう～★「居場所」を活用する発想

【G グループ】

松山弘子（福祉委員会）、淵本直志（みささぎ会）、眞鍋則秋（ボランティア連絡会）、平田侑子（身障会）、松浦信孝（個人会員）、井上亜美（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ 地域住民 ）を対象に、  
（ 交通の便が良い、歩いていける場所で、「ここはオモロイで。寄ってみ～や」という地域カフェ（2 回目ぐらいまではタダになる 100 円カフェ） ）をやったらオモロイかも！  
です。  
なぜ、そんなことを考えたかという、（ 困っている住民/どこに相談に行ったらいいのかわからない方が多い ）と思ったからで、実現すれば（ お友達の輪が広がる。気軽に相談できる（つなぎの場になる）。 ）という、いいことがあります。  
実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

いろんな分野の専門職  
が対応する相談できる  
場所  
節約術、家計簿相談、

コーヒー、食事、遊び  
楽しく、一日過ごせる場  
所づくり。  
おしゃべりが自由にできる  
場所。気軽にふらっと立  
ち寄れる場所。

・昔遊び（大人から子どもへ伝承）  
・団塊の世代が、自分の  
得意なスキルや経験を  
伝える場を提供

"だれでも食堂"  
（何でも相談  
（学習支援  
（スマホ教室  
（安否確認  
全部を兼ね備えられる  
場所

市役所や社協ではなく、  
敷居の低い、話しやすい  
存在が求められている。

スマホの使い方、マイナ  
ポイントの予約、日常生  
活のちょっとした手助けを  
お願いできるきっかけを  
作る。  
ボランティアも拡充。

テーマ2【地域づくりの実践】～居場所づくりで夢を語ろう～★「居場所」を活用する発想

【Hグループ】

澤田由美子（いきいき歌体操）、米田辰二（シルバー人材センター）、福塚充（老人クラブ）、中本勝也（どうみょうじ高殿苑）、奥谷りこ（市協働人権課）、浦田亜沙美（社協職員）

【グループからの提言】

皆さんに提案したいことは、（ おひとり様、子どもと大人(高齢者) ）を対象に、（ 日中は料理教室、夜は子ども食堂 ）をやったらオモロイかも！です。

なぜ、そんなことを考えたかという、（ 町内での(特に独居の男性)つながりが少ないと感じる ）と思ったからで、実現すれば（ 世代を超えて交流ができる ）という、いいことがあります。

実現したら、きっとオモロイと思います！皆さんどうでしょうか？

・商店街に共同冷蔵庫を設置したい！

・地元の野菜、食材を使った料理教室

・おひとり様の会  
・お茶を飲みながら、楽しいお喋り  
・お酒を一杯飲んで話せる会

町内でのつながりが少ない人、自治会に入っていない一人暮らしの人に働きかける。

世代を超えて交流できる、食事ができる場所。  
→食育、栄養バランス、お母さん同士の交流など

高齢者が昔遊びを教える。子どもは身体を動かしてから食べる。歌を歌ったり、体操をしたり。

高齢者の方が、今の子ども達のことを知ることができる。  
高齢者の刺激になる（認知症予防も）。

長く続けられるように役割分担する。  
いろんな人に関わってもらう。

ボランティアに来てもらって、演奏してもらおう。  
懐メロなど

シルバー人材センターに協力してもらおう。